

(仮称)「富県宮城グランプリ」表彰制度(案)について

1. 目的

「富県宮城の実現」に向けて、本県産業の発展、地域経済の活性化に対する貢献が顕著である企業・団体等を称えることにより、「富県共創！」への関心を高め、「富県宮城の実現」に向けた機運醸成を図り、県民・企業各層の主体的な取組を促進する。

2. 対象

県内に事業所等の活動拠点を有し、3年以上の活動実績がある企業、個人及び団体(別表)で、本県産業の発展及び地域経済の活性化に対する貢献が顕著であり、かつその貢献が県民に相当程度認知されていると認められるもの。

3. 表彰区分

表彰は、「企業」「個人」「団体」の3部門ごとに、知事が実施する。

4. 応募

自薦又は他薦とし、富県宮城推進会議構成団体等の関係団体に対して、推薦依頼を行う。

5. 選考

富県宮城推進会議の意見を踏まえながら、以下の選考基準に基づき、「企業」「個人」「団体」の部門ごとに原則として1者・団体を知事が選考する。

(1) 選考基準

部門	定量的基準(例)	定性的基準(例)
企業	次の両方の基準に該当すること ・「従業員一人当たりの付加価値額」の直近年の伸び率：3%以上 ・「売上高」の直近年の伸び率：2%以上	<p>貢献度 事業・取組が、本県の経済発展、産業の活性化に貢献している。</p> <p>創意性 事業・取組が、創意性、独創性又は新規性に優れている。</p> <p>地域貢献 事業・取組が、地元企業の受発注の増加、地元住民の雇用拡大等、地域経済・社会の発展に寄与している。</p>
個人		<p>産業振興 本県の産業振興(科学技術・学術・研究・開発・技能を含む)に尽力し、又は貢献し、その功績が顕著な者・団体</p>
団体	・地方自治体にあつては、宮城の将来ビジョン「富県宮城の実現～10兆円への挑戦～」に貢献する独自の経済成長目標(計画)を設定し、かつ、直近年において目標値(計画値)を達成していること	<p>産業人材育成 本県の産業人材育成に尽力し、又は貢献し、その功績が顕著な者・団体</p>

「一人当たりの付加価値額」=「付加価値額(営業利益+人件費+減価償却費)」/「従業員数」

(2) 選考方法

事務局（県経済商工観光部）にて，選考基準に基づき，部門ごとに受賞候補を数件選出（＝予備審査）

富県宮城推進会議幹事会において，予備審査内容の妥当性等の観点から意見を頂く。

予備審査結果及び推進会議意見を総合し，知事が受賞団体を最終決定。

6. 表彰式

知事室等において，知事から褒状及び記念品を授与して行う。

7. 実施スケジュール

平成20年10月 募集開始

12月 募集締め切り

平成21年 1月 予備選考（事務局）

2月 第4回富県宮城推進会議幹事会での意見聴取，最終選考

3月 表彰式

別表：対象（定義）

	対象の範囲	例
「企業」	・ 営利を目的とした経済活動を行う法人及び個人	会社，個人事業主
「個人」	・ 営利を目的としない私人	研究者，技術者，教育者，業界OB
「団体」	・ 「企業」を除く法人，組合，地方自治体 ・ 企業間・地域間・産学官の連携組織等の任意のグループ	市町村，協同組合，研究グループ，町内会，NPO